
2022
法人事業報告



社会福祉法人

しが^が夢翔会

1、はじめに ～ 大津の近況と夢翔会の仕事 ～

近年、大津圏域(特に南部)には、収益追求型のグループホームやA型・B型事業所の乱立傾向が強くなっています。中軽度の障害者の囲い込みなどがみられるなかで、重度の障害者への対応は、一部私たちと意思を共有する法人による地域拠点や重度対応型のグループホームなどを除いて、立ち止まったままとなっています。私たちの多機能型地域生活支援拠点の整備は高齢障害者や強度行動障害者の「その人らしい」暮らしを提案するものとなると思います。

私たちの実践が重度障害者の支援の「最後の砦」であることを強く意識し、意思を同じくする法人とともに、大津の重度の障害者支援を実現したいと願っています。私たちの実践が、障害が重度で「行動障害」や「重症心身障害」の状態にある人に焦点を合わせ、「その人らしい暮らしの実現」という「本人の願いに寄り添う」ものでありたいと思います。

この数年をコロナ禍の対応に追われながらも、利用者を中心として地域に必要な事業を進めてきています。また新たな計画として多機能型地域生活支援拠点を整備することを目指しています。

2、法人の重点的な課題について

① 多機能型地域生活支援拠点<Plan2024>に向けた新規事業計画の推進

長年の懸案であった、行動障害及び高齢化に対応するグループホームの整備及び障害者支援施設の活動棟の建て替えを含めた多機能型地域生活支援拠点の整備に向けて、大津市社会福祉施設整備事業への申請を行った。12月10日付けにて大津市の採択をいただき、2023年度の国庫補助申請に向けて大津市障害福祉課と協議を重ねながら準備を行った。

またこれまでの自立支援協議会を通じた活動等を通じて、行政としても行動障害を呈する利用者への暮らし、処遇の場所、システム作りも含めて重点施策として力点が置かれ、大津市単独の補助が当初予算として決定した経過となっている。2024年度の新規事業の立ち上げに向けて、来年度、実務的な準備を計画的に進めていくものとする。

② 中期ビジョンを見据えた中堅層の人材の育成と計画的な異動及び新規採用職員の育成

法人全体においては、主任、副主任、係長発令等を組織の目的及び規定等に沿って実施を行った。また一部、事業所間異動を組織の目標、職員それぞれの希望や将来ビジョンと合わせて実施を進めた。

採用活動については、外部媒体を活用し新規採用活動及び年度内における中途採用活動を計画的に実施してきた。2022年度においては新規採用職員4名、年度中途採用職員新規3名で経過をしている状況あり。(参考：2023年度の新規採用は新卒5名、契約職員からの正規職員への転換2名で経過)

来年度以降も引き続き、職員の育成、定着、採用活動はより重点的な課題となる。特に採用活動においては社会状況の中でその難しさも予測されるため、より中期ビジョンを見据え、組織全体としての内計画的な採用、育成活動の計画的な実施が必要と考えられる。

③ 法人研修体系の確立に向けた検討

年間通して全5回の法人研修委員会の開催を行い、法人全体での研修の計画、実施を行った。

新規採用職員の年間を通じた研修の実施、階層別研修としてコミュニケーションをテーマに実施を行うことが出来た。一方で法人全体での研修体系の検討などには至らなかった部分もあり、改めて各事業所での研修、法人全体での研修、資格要件等含めた法定研修など整理、精査を行う中で、次年度以降も法人全体での研修体系、計画の確立を目指していくものとする。

④ 虐待防止への取り組み・防止責任者（マネージャー）の設置と研修の実施

虐待防止委員会の設置要綱またマニュアル作成を進めた。合わせて制度上も必置である虐待防止マネージャーの配置についても法人内各事業所の管理者を中心として位置づけを行った。また法人第三者委員会及び事故苦情解決、虐待防止委員会においてマニュアルの確認や発生事案等の報告、助言をいただき必要な修正などを行うことが出来た。（監査により、また不十分な部分など伺っているので引き続き、修正、周知を進めていくものとする）

⑤ 法人実践報告会”Mushoukai2022∞”の開催

法人実践報告会について、9月17日（土）にWEB及び一部各事業所集合型での開催を行った。助言者として（社福）南山城学園 障害者支援施設（翼）西田武志氏を助言者に迎え実施した。法人内各事業所より実践の報告を行い、意見交換及び助言をいただいた。改めて日々の実践を振り返る機会となり、自分たちの仕事の中身を確認する意味では成果のあるものであった。また今回の開催については、コロナ禍であることも鑑み、外部に広くご参加をいただくというよりは、内部での学習会の意味合いを目的として実施をした。WEB開催での試みではあったが、各事業所での参加また事後視聴も含め職員の皆様からも広く感想やご意見をいただくことが出来た。次回については集合型での開催を目指して、研修委員会及び実行委員会を中心として計画していくものとする。

⑥ 災害への対策 各事業における防災計画・法人及び各事業所におけるBCPの作成

防災計画及びBCP計画については、大きく作成や訓練等において進捗はなかったが、各事業所においてその準備や作成、想定に向けた検討を進めている。来年度末までに必須であることから、より具体的な作成を進めていく必要がある。

また災害対策においては、一部、暮らしの場（入所）においては備蓄の確保を進めることが出来た。もちろん必要備蓄が単年で準備できるには至っていないため、数年の計画の中で必要備蓄を進めていくものとする。

⑦ 新型コロナウイルス感染症への対策の徹底と発生時の法人内協力・BCPの実施

年度当初において、ステップ広場ガルでクラスター（利用者17名、職員10名）が発生、およそ1か月間の集中的な感染対策、ゾーニングを実施し対応を行った。1名の利用者が入院される状況があったが（後に退院）、他の利用者、職員においては重症化することなく経過することが出来た。また地域のグループホームにおいても、断続的に感染者が発生する状況があったが、グループホームの特性上、分離が難しい課題に直面する場面が多く見られたが、環境面での工夫や一部、職員宿舎の活用などを最大限行い、対応を行った。改めて生活の支援現場における感染対策及び発生時の対応の難しさを感じるものであった。

また通所施設においては、様々なサービスを利用されている方も多いため、日々の感染対策の徹底をより強化し、また感染者等がある場合にはやむを得ない一部閉所や、利用者の分離などの対応を進めた経過がある。

法人内どの事業所においても、各現場での職員の対応の徹底、及び発生時の対応などリスクのある中での業務に奮闘したこと、また一部、事業所間の連携も含めて対応に当たれたことは何より、職員の尽力のよるものである。

⑧ 高齢障害者のライフサイクルに合わせた支援の検討。より良い終末期のくらしの実現に向けた事業所

連携

地域連携を検討し、高齢者対応に実績とノウハウを持つ法人との連携を進め、ライフサイクルに合わせたふさわしい支援の実施に向け検討を進めている。一部、入所施設においてはご本人の特性も踏まえ高齢施設への暮らしの場所の移行を計画的に実施したこと、また施設入所者の日中帯における活動を体験として他事業所の生活介護への通所などの取り組みを始めた。またこれらの取り組みについては、生活支援センターとの協働のもと入所施設からの地域生活移行の取り組みの一環として進めている。今後、入所施設の高齢化、また法人内においても地域のグループホームの高齢化の課題はより顕在化していくことが予測されるため、継続した高齢化に対応する支援の検討が必要である。

⑨ 地域生活支援拠点の面的整備に参加する事業所としての支援の精査

法人内ではステップ広場ガル短期入所、相談センターみゅうが地域生活支援拠点の面的整備の事業に参画をしている。特に緊急時の対応や利用調整において複数の実績及び役割を担うに至っている。

今後も地域生活を支える機能としての役割は大きいものと考えられるため、引き続き天津市障害者自立支援協議会を通じて必要な役割を担っていくものとする。

3、法人位置付けの部及び会議について（開催実績）

各会議・各部名	開催頻度	実績	参加
理事会	規定に沿う	5/27（金）、10/26（水）、3/24（金）	理事・事務局
評議員会	規定に沿う	書面にて開催	評議員・事務局
法人経営会議	1回／月	4/20、5/18、6/22、7/20、8/17、9/21、 10/19、11/16、12/21、1/25、2/15、3/8 *いずれも（水）開催	法人内管理職
法人事業ミーティング（事業・人事）	1回／月	5/10（火）、5/31（火）、6/21（火）、 8/9（火）、10/12（水）、11/9（水） 12/27（火）、2/1（水）、2/7（火）	南北統括・事務局 （*理事長）
法人事故防止・苦情解決委員会	2回／年	9/21（水）2021年度 下半期報告 1/18（水）2022年度 上半期報告	管理職・第三者委員
法人虐待防止委員会（経営会議兼）	2回／年	上記に同じ	各 虐待防止責任者
人材育成・採用活動 Project 会議	3回／年	随時開催	採用 pro チーム
法人研修委員会	随時	6/16（木）、11/17（木）、1/19（木） 2/16（木）、3/16（木）	各事業所・研修委員
実践報告会実行委員会	随時	6/16、7/21、8/18、9/15 *いずれも（木）	実行委員
法人広報委員会	随時	随時開催	担当
法人給与検討委員会	随時	9/5（月）、12/16（金）、2/14（火）	担当・職員代表

4、法人全体研修計画（2022・23 2カ年研修計画に沿って実施） テーマ～ 続・コミュニケーション ～

法人全体研修においては、2カ年計画をもとに実施した。法人全体での研修テーマを「コミュニケーション」として、階層別研修においては、日程等の関係もあり全階層共通での研修の実施に留まった。虐待防止研修については、各事業所にて実施を行った。また法人実践報告会については、9月17日（土）にWEB及び一部集合型での開催、事後視聴も含め法人内職員は多数の参加を行うことが出来た。

（以下：2022年度 法人全体研修の実績抜粋）

研修名	開催日	備考
新規採用職員研修	2022年4月1日（金）4日（月） 計2日間（座学中心）	講師：本谷研司医師 他各事業所長
新規採用職員フォローアップ研修	（半期）2022年9月30日（金） （年間）2023年3月10日（金）	他：1ヶ月、3ヶ月の振り返りを事業所毎で設定
階層別研修	2023年3月2日（木）全階層共通	講師：市社協 山口浩次氏
虐待防止研修	各事業所にて実施	
法人実践報告会	2022年9月17日（土）	WEB・集合型にて開催
人権研修	2023年3月2日（木）	階層別研修に同じ

5、他機関との連携

各機関・関係団体との連携の中で法人の果たすべき役割を確認しながら日々の運営を進めてきた。各団体を通じた政策提言、要望等も含めた積極的な活動への参加。また今年度も職員の研修講師の派遣、また研修参加等を積極的に行うことが出来た。

〔外部関係諸団体（抜粋）〕

全国手をつなぐ育成会連合会／滋賀県手をつなぐ育成会／全日本自閉症支援者協会／滋賀県知的ハンディをもつ人の福祉協会（日本知的障害者福祉協会）／滋賀県障害者自立支援協議会／大津市障害者自立支援協議会／滋賀県児童成人福祉施設協議会／おおつ「障害者の生活と労働」協議会（OSK）／ 他：事業ごとでの各連携先等あり

〔内部団体〕しが夢翔会後援会／ステップ広場ガル家族会／デイセンターすみれ・楓家族会

6、各部署の事業報告

※ 別紙参照